

①学習課題（小学校2年生）

【国語】

<内容>

◆教科書の「つづけてみよう(P12)」に取り組みます。

- ① P12 を参考にお家の人に、今日のできごとや、見つけたものから、心に残ったことを一言で、書いて伝えます。

◆「ふきのとう(P13～P26)」に取り組みます。

- ① 「ふきのとう」を声に出して読みます。
- ② 誰が出てきたか（登場人物）を取組シートに書き出したりお家の人に伝えたりします。

<保護者による関わり方のポイント>

- ・できるだけ毎日継続して取り組むことができるよう、書くことができたことをほめたり感想を伝えたりするなど、意欲が持続するような声掛けを行ってください。
- ・はじめは、句読点に気を付けて正しく読めるように関わります。お子さんが読み慣れてきたら、声の大きさや、口の開け方、姿勢、読む速さなど、読む前にめあてを決めて音読するよう声掛けし、よいところを積極的に認めてあげてください。
- ・登場人物（お話の中で人のように動いたり考えたりする生き物やものを含む）を取組シートに書き出します。お話の中で、人のように話したり動いたりしているものを一緒に見つけた後に、取組シートに整理する方法もあります。



【算数】

<内容>

2年生 ①「ココアはいくつ」（教科書P7～9）

- (1) $\boxed{1} \sim \boxed{9}$ の数字を $\boxed{} + \boxed{} + \boxed{} = 15$ の式の $\boxed{}$ 、 $\boxed{}$ 、 $\boxed{}$ の部分にはめて式をつくってみよう。
- (2) 式は一つだけかな？
- (3) 全部でいくつあるか探して、取組ノートに書いてみよう。
- (4) 教科書P9のように、他の問題でも考えてみよう。
- (5) 全部解けたら、自分でも問題を作ってみよう。

<保護者による関わり方のポイント>

- ①(1)→「コ」には、同じ数字が入ること、「ア」と「コ」には異なる数字がはいることに気付かせたい。また、自分で気付いていたら、褒めてあげてください。
※文字＝数字のように、算数では□やa等に置き換えて考えることがあります。
この問題は、そのような見方を育む素地となります。
- (2)→ 式は、「一つだけではない」ということにも気付かせたい。
※算数の学習では、答えが一つだけではないこと⇒「ほかの場合も考える」ということに子どもが自分で気付けるように関わるのが大切です。（教科書P6）
- (3)→ 複数の式を見付ける活動を行わせます。
※自分で探し、見付ける活動を楽しませることで、算数に対する意欲を高めたい。
- (4)→ P9の $\boxed{\text{ル}}$ 、 $\boxed{\text{ル}}$ 、 $\boxed{\text{ル}}$ の等は同じ数を3回足していること。つまり、 $\boxed{\text{ル}} \times 3$ と考えることができ、2年生で学ぶ「かけ算」の素地となる活動になります。

